

第3回 十和田地域広域事務組合 ごみ有料化等検討委員会会議概要

日 時 平成20年 9月30日(火) 午後1時30分～午後3時10分

場 所 十和田ごみ焼却施設 2階 会議室

出席委員	上野俊治	中橋勇一
	相内一輝	松橋均
	種市輝夫	小林光男
	小笠原洋子	漆館美香
	伊沢義隆	富田義輝
	立花広美	鹿島千恵子
	漆坂直樹	柴山英夫
	石川隆一	酒井正志
	高村郁子	遠藤健治

事務局職員 鈴木事務局長、加賀澤業務課長、佐々木課長補佐、盛田主任主査、沢口主査

[開 会]

[会長]

時間がまいりましたので始めさせていただきます。本日の検討委員会は、お手元の次第のとおり、最初に先進地視察の内容確認をいたします。事務局から東根市外二市一町共立衛生処理組合の視察概要を報告していただき、視察事項の確認をしていきたいと思っております。その後、2番目の議題として、「ごみ処理の議題整理とその対応策について」を前回のワークショップと先進地視察の車中で検討した事項の整理をすることといたします。なお、本日の会議は、午後4時ごろをめどに終了していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〇次 第

(1) 議 事

- ①先進地視察の内容確認について
- ②ごみ処理の課題とその対応策について
- ③その他

1. 議 事

①先進地視察の内容確認について

[会長]

それでは、議事に入らせていただきます。議題①の先進地視察の内容確認について、事務局から視察報告をお願いします。

〇事務局、資料により「先進地視察の概要について」説明

[会長]

ただいまの事務局の説明について、質問等ございましたら、お願いします。(なし)

②ごみ処理の課題とその対応策について

[会長]

それでは、議題②のごみ処理の課題整理とその対応策について、事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「ロジックモデル作成の整理表」説明

[会長]

ちょっといいですか。副会長にお聞きしますけど、事務局のほうから説明が順々にあると思いますけど、全欄だと整理しきれないので、パッと専門家がお聞きになって、例えば例をあげて、どんな流れが出来るのか説明してくれば、イメージを掴みやすいと思いますがどうでしょうか。

[副会長]

これ全部読んでも眠くなりますね。中身は、自分達を書いたものなので、次回の作業の時までに見てもらえればいいと思います。これを付け合わせるんですが、さっきも説明がありましたけど、これまでは、第1段階の非常におおざっぱな作業です。はっきり言ってこのままでも、住民の委員が出したのものとしては、十分中身が濃く整理がされています。自分たちがバラバラで言ってるようなことでも、相当ものを考えていて、組立てるとちゃんとした報告書になっています。

○副会長から、資料により「ロジックモデル作成について」説明

[副会長]

次回以降やりたいことは、今のところ4つの箱におおざっぱに入れているんですけど、今度は、1つずつを横につないでいきます。例えば、左上に、「分別の不徹底」とあります。分別を徹底して、それで「ごみの適正排出」となるように右側の目標にひっくり返して出てきます。現に出てきています。今度は、4つがおおざっぱに並んでいるわけじゃなく、一番右側のところをあげると、「ごみの適正排出」が進むということは、全体の「ごみの発生抑制」につながってきます。また、3番目の「住民の意識啓発」がないと中々「ごみの適正排出」ということにはないです。ということは、一番右側の中でも因果関係があるのでそれを左右にちょっとずつ開いていきます。今度は、分別徹底で、左側が「不徹底」で右側が徹底して「適正化排出」になるようにするために何をするのか、例えば、「監視活動」をするのか、「家庭ごみ有料化」も効果があるのか、「戸別収集」も効果があるのか、こういうあたりのものが左から3番目の案文に出てきます。そうすると同様に、他の左側にある「ごみの減量化」も同じくたくさん線につながります。それを順番にひとつずつ組み立てていって、「ごみの適正排出化」にもなるし、「発生抑制」にも「リサイクル」にもつながってくるので、例えば「有料化」とか「生ごみ堆肥化」を徹底してやると、その中のかなりの部分が進み最終的にやるべきことを絞っていくのです。それぞれの中で大事なことが解ってくるようになります。さっきも言っていたように4つを線で左右につないでいくようにするのです。

今度はそれをやるときに、市町村や組合で頑張ってもらっただけでいいのか、町内会や自治会で大きな役割を果たすのか、それともそれと並行して学校や家庭で頑張ってもらったほうが効果があるかどうか。後で組み立て直すと、例えば、市町村がやらなければいけないことは、これとこれとこれです。学校でやって欲しいことは、これとこれとこれです。と出てきます。そのつながりで何回も市町村が出てきたり、学校が出てきたりするのです。すると、分別はこうなってるよ。どのくらいやっただけがいいと思うよとなります。また、つないでいくと我々が意見した中に足りないものも出てきます。

[会長]

ということはこんな感じですね。今、それぞれ縦に並んでいるボックスがありますが、その項目として四角で囲っているものをまず考えていくのですね。今度はそれを横につないでいってひな形を作ります。そういう流れが決まった後に、具体的に何をやるかというときに、一つ一つの項目を読んでいくということですね。

[副会長]

例えば、分別の不徹底は分別徹底と右側にひっくり返します。そのために何をやるかということなんです。そして、左から2番目の誰がやるかということになります。それを繰り返していくと何度でもレジ袋有料化が出てきたり、何度でも自治会が出てきたりします。レジ袋有料化するということは、何と何と何のためと頭の中を整理することが出来るので、こうやって組み立てていくと最終的に住民に説明出来るようにうまってきます。そして、うまっていない部分をみんなで考えていきましょうというこ

とです。例えば、3枚目（理解、教育、コンセンサス）を開いてください。有料化をするにしてもしないにしてもごみの減量化をするには、住民や自治会の認識・理解がすごく大事だということは、視察先でも言っていたし、私達も思っています。これがうまくいったら、有料化の料金の額を減らしたり、先延ばしすることが出来るかもしれません。理解・教育のために右から2番目の施策・事業・活動をしたら、少しは効果があるかもしれませんが、有料化と抱き合わせたほうが効果があり理解を得ると思います。そのことで、理解が得られれば、たいてい合意が得られると思います。この一番上に書いているもので「住民の意識改革」とありますけど、今、住民の意識はどれくらいで、どれくらいみんなの意識が変わればいいのかという議論をまだやっていないと思います。そのために、どのくらい啓発活動をすればいいのか。今やっている啓発活動は、どのくらい効果があるのかチェックしていかないと、どのくらい頑張ってくださいと提案もできないわけです。という具合に、四角い項目は出てきていますが、中身が埋まってないというのが見ただけでわかります。1枚目（ごみの分別・減量化・資源化）の紙に比べたら、3枚目（理解、教育、コンセンサス）はスカスカなわけです。という風に項目の中身もチェックして、自分たちでうまくつながるように、もう少し中身を濃くしようということです。そうすると、これはもちろん事務局のかたとの相談もあるのですが、一番目の目標は、1枚目のごみの分別をきちんとし、減量していくことなんですけど、その時に事業・活動で出てくる例えば、「ごみの有料化」もある程度効果があるとようだ。でもそれだけでは、やり方によってはリバウンドもあるし、うまくいかない、負担もあるようだ。有料化をやるとしたらうまくやりたい。でも、問題点はこういうのがあるだろうというのが、2枚目（ごみ有料化の効果と課題）に出てきます。そして、3枚目（理解、教育、コンセンサス）に、そうはいつでも有料化するしない以前に、みんなが相当理解していないと、有料化したってうまくいかないし、しないで済むのなら、それにこしたことはないけど。みんなの意識向上の水準をあげるのは簡単でないというのが出てきます。このように、3つのものを詳しく組み立てていくと、だいたい報告書が出来て、自分たちの頭の中を整理することができます。色々、説明しますとだんだん難しくなりますね。要するに、材料となる項目を一つずつ書いて、それを左から右につなげていきます。それで、抜けている足りない部分があったら、考えてとにかく埋めてみてください。つなげたものをみんなで議論して、最終的には、有料化に向けて私達はこういう評価をしましたと報告になるでしょう。

[会長]

だいたい説明はついたと思いますけど、どうですか。

[事務局]

副会長のほうから中身の説明がありましたので、私のほうの説明は省略します。

[会長]

次回までに、ある程度それぞれ自分でどんな組み合わせがあるか考えてきてもらいましょう。

[副会長]

これは提案なんですけど、一つの方法としてみんなでじっくり考えるという方法もありますがこれだけの人数がいますので、それぞれ1枚目（ごみの分別・減量化・資源化）、2枚目（ごみ有料化の効果と課題）、3枚目（理解、教育、コンセンサス）と担当を決めてやってみたらどうでしょうか。次回の検討委員会までに、これが興味あるやりたいというものの、左右のつながりをチェックをしてもらってきたらどうでしょうか。資料はすごく立派に出来ているのですが、私の説明不足だったんですけど、わかりやすく言うと、1枚目の1番左「分別の不徹底」「ごみの減量化」と書くと現状じゃないんです。ごみが分別されていないとか、ごみの減量化が必要ですが現状なんです。その下の「リサイクルの推進」もリサイクルがうまくいってないが現状なんです。右側に、ひっくり返すということは、一番上のだと分別が徹底されているという状態にしてください。「ごみの発生抑制」は、ごみの減量が進んでいるという状態にしてください。左はじが右はじにひっくり返っていくので、リサイクルがうまくいってないは、リサイクルがうまくいっているという状態にしてください。最終処分場の寿命が近いという問題は、最終処分場の寿命を気にしなくてもいい地域になるという状態になります。そして、それは民間になるかもしれないし、新しい処分場かもしれないと施策・活動が出てきます。まずは、左側と右側が対応しているかチェックしてください。そして、右から2番目の施策・事業・活動で色々な提案が出ているので、それは誰がやるのか、特に我々委員は住民の立場として、中心でやるのは行政だとしても町内会で出来ることは何だろうか。それがスムーズに進むためにはどうしたらいいか考えてください。それから、子供がまだ学校に通っているなど学校に関係のある方もいると思うので、学校でこういうのを手伝えるのではないかと、子供たちがこういうのを理解したら家庭につながるのではないかなど、それが書いてあるのか書いてなければ、それぞれ自分の中で考え提案して

ください。これくらいの作品を作っていただくと次から楽に進みます。事務局の考えというより、私たちが書いたものなので、左右のつじつまが合ってないものをつじつまを私たちが合わせる。そうすると、この問題について、これから地域の住民に対して理解してもらうために、質問されたときに、説明・答えを出すことができます。という状態の見取り図を作るのです。詳しくなった状態にすると、1枚のものがそれぞれ4、5枚になるでしょう。それを今度はみんなで議論して、左右を合わせていきます。例えば、分別が徹底されていないので、町内会で収集場所の監視活動を行います、するときちんと分別されます。また、ごみの減量が必要なので生ごみの堆肥化を家庭で行い、ごみの減量がされるでしょうなど左からも右からも読めるようにします。そうすれば、説明としてしっかりしたものが出来ます。出来れば一番右側のほうに適正排出・分別などの水準は、これくらいまで目指しましょうとか、また、有料化の水準をこれくらいにすると、リバウンドはないでしょうかとか数字を加えると、住民の報告としては、これくらいない完璧なものが出ます。

[会長]

次回までに人数に偏りがあるかもしれませんが、自分たちがそれぞれ興味のあるものをしていただいて、手薄になったところは、みんなでまとめていくやり方でいかがですか（異議なし）

[会長]

ただいまの説明について質問等ございませんか。副会長は専門家ですので、どんなことでも答えてくれると思います。

[副会長]

私は、中身の部分というより、こういうやり方をしましょうと自分でやらないでみんなにやってもらうことの専門家です。私が作るということはいっさいしません。この委員会は、住民が中心になって考え、事務局が余分に文章を加えていない報告は、全国でも画期的なところまでいくと思います。一見ばらばらに言っていることでも、感想文でも、紙に書いてみると、ちゃんとしたことを考えているのが分かります。次の段階を煮詰めましょうというだけで委員の中で納得出来るという流れが出来ます。事務局が考えたものを議論するという委員会が多いですが、ここは幸いそうでないやり方です。整理すると、この中にもありますけど、東根市は住民説明会は1回ですね。有料化をやるにしろ、やらないにしろ、住民がちゃんと理解しないと有料化は出来ませんよね。私も提案していますが、住民どうして説明・議論して報告書をもっとよくするというやり方がいいと思います。ということは、皆さんがこれをもっと整理すると、いわば虎の巻が出来るわけですから、自分たちが説明出来るわけです。質問されたときも答えられます。もし、ないものがあつたときは、こんなもあつたのですね、ありがとうございますと言って新たに議論する項目が出来て、報告をもっとよくすることが出来ます。行政がやると、何かと反発が多いですけど、私たちが議論した結果、有料化は必要だと思いましたが、自分たちがしっかりしていると委員が住民に説明が出来ます。

[会長]

ありがとうございました。どういう結果になるか非常に楽しみです。次回から進めていきましょう。質問はありますか。

[委員]

スプレー缶の爆発とかありましたけど、現実に今の収集方法で考えているのか。それと、役所のほうでは、このままの収集方法でいいという意識でいるのか。別の収集方法も考えているのですか。

[会長]

収集業者さんの立場からの意見もこの中に入れたらいいと思います。

[委員]

缶の出し方で違反している住民もいます。収集方法とか業者の立場からの意見をこの中に入れていいのですね。広く考えていいのですね。

[事務局]

そのことについては、1枚目（ごみの分別・減量化・資源化）の施策・活動の中にも出ていますが、戸別収集すると、それに伴い施設を作ったり、お金が必要とか、収集方法を変えるなど、そういう業者の立場からの意見を出してください。

[会長]

1枚目の最初のところに加えればいいと思います。収集業者の立場から見て、どんな問題があるのかあげてもらってみんなで考えていきましょう。

[委員]

それともうひとつ、プラスチック製容器包装ですが、収集してわかったのですがプラスチックだからという考えで一緒に袋に出したり、収集してきたりして困っています。プラスチック製容器包装は、こういうものだと教育したほうがいいと思います。どういう形で進めていくのですか。

[副会長]

それを詳しくやっていこうというのが、3枚目（理解、教育、コンセンサス）の紙のところです。みんなが分別をちゃんと理解してないというのを排出事業者というのが担い手にありますが、少なくとももう一つ、収集業者を入れてつないでいけばいいと思います。議論は、後でします。まずは最初は、自分なりにどんどん、こうしたらいいじゃないかという意見を出してください。

[会長]

何か他にございませんか。（質問なし）

②その他

[会長]

それでは、議題③のその他について、事務局から説明があります。

[事務局]

次回の検討委員会の日程ですが、予定では10月下旬となっておりますので、10月31日金曜日午後1時30分から、この会場での開催をお願いします。

[会長]

次回の検討委員会は、10月31日の開催でよろしいでしょうか。（異議なし）

[会長]

それでは、10月31日の午後1時30分から第4回検討委員会を開催させていただきます。最後に事務局から何かございますか。

[事務局]

本日は、長時間にわたりまして、ご議論いただきありがとうございました。次回の検討委員会のご案内は、郵送にてご案内させていただきます。

【閉 会】

[会長]

それでは、これもちまして、本日の検討委員会を閉会させていただきます。お忙しいところありがとうございました。